



2017年3月8日

各 位

会 社 名	株 式 会 社	ジャフコ
代 表 者	取 締 役 社 長	豊 貴 伸 一
コ ー ド 番 号	8 5 9 5	東 証 第 一 部
問 合 せ 先	管 理 部 広 報 担 当	池 田 明 霞
T E L	0 3 - 5 2 2 3 -	7 0 7 3

### 配当の基本方針に関するお知らせ

当社は、2017年3月8日開催の取締役会において、今後の剰余金の配当に関する基本方針につき、下記のとおり決議いたしましたので、お知らせいたします。

#### 記

#### 1. 今後の配当の基本方針

プライベート・エクイティ（未上場株式）投資事業を主たる事業とする当社の株主還元につきましては、継続性に留意しつつより柔軟に取り組んでまいることとしております。この方針をより明確なものとする指標として、当期の配当から、株主資本（期首期末の平均値）の3%を目途とすることといたしました。

今後は、この指標を目途としつつ、プライベート・エクイティ投資事業を継続して行くための裏付けとなる強固な自己資本や財務基盤を維持し、いかなる環境にも対応できる投資体制と収益基盤を確立しながら、株主還元とのバランスをとってまいります。

#### 2. 理由

プライベート・エクイティ投資、なかでも主要な投資対象であるベンチャーキャピタル投資は、事業基盤が確立していない企業への投資であり、高いリスクを有しています。投資対象ごとに事業性を見極め、潜在成長力を引き出す投資であり、個別性が高いため、継続的かつ安定的に収益を上げていくことは容易ではありません。さらに、保有株式の売却価値は、投資先企業の成長性や、株式市場の変動の影響を大きく受けます。

金融危機後の数年間、当社も厳しい状況が続きましたが、厳選集中投資の成果により、2013年から2015年にかけて大型のキャピタルゲインが続出したことで、強固な財務基盤を確立することができました。現在は、より高いパフォーマンスを目指して、投資対象をスタートアップ、アーリーステージ企業へシフトし、起業家予備軍へのアプローチにも力を入れています。一方で、環境変化は目まぐるしく、常に不透明な状況におかれているため、安定的に事業を継続するための財務基盤がより重要となっています。

こうしたなかで株主の皆様にも継続的に配当できる水準として、株主資本（期首期末平均）の3%を目途とすることといたしました。なお、当期の配当金につきましては、上記基本方針に基づき、2017年3月期の決算発表時にお知らせする予定です。

以上